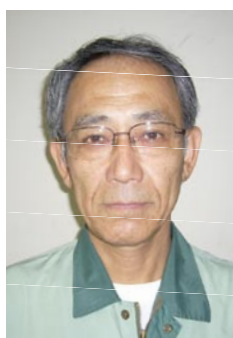


## 茨城工場CSRレポート

生産品目： 高圧ホース、シーリング材  
敷地面積： 152,000m<sup>2</sup>  
従業員数： 256人(2009年6月現在)  
所在地： 〒319-0198 茨城県小美玉市羽鳥西1番  
TEL 0299(41)1111



### 工場長ご挨拶



浅場 昇

茨城工場は、住宅街に隣接し、霞ヶ浦への排水経路にあるため、操業以来、大気、排水、騒音の管理・改善を継続してきました。また、横浜ゴムの中期経営計画「GD100」に基づき、「信頼される工場」「トップレベルの環境貢献工場」を目指して省エネ活動やゼロエミッションなどに取り組んでいます。省エネ活動は設備改善に加え、屋根への散水、蒸気・エアーの漏れ対策、エアコン室外機へのよしず日除けの設置、ゴーヤ日除け

の設置など地道な活動が大きな成果を上げました。さらに2009年からは週3日、社内ブラックイルミネーション(定時退社による消灯活動)を行っています。ゼロエミッションは、「茨城県リサイクル優良事業所」に認定されるなど積極的に取り組んでいます。また、地域社会とのコミュニケーション向上のため、野球場の貸し出し、地域イベントへの参加、工場周辺の美化活動、通学児童の安全誘導などを行っているほか、工場への理解を深めていただくため、地元の小学校、高校を招いて工場見学会を実施しています。2009年度は工場公開の機会をさらに増やす計画を立てています。その他、2009年5月に「YOKOHAMA

千年の杜」プロジェクトの第2期植樹祭を行いました。将来、防災場所の確保、CO<sub>2</sub>の吸収などに役立てたいと考えています。今後も環境マネジメントシステムをさらに強化し、環境汚染の防止と継続的改善を全従業員参加で進めていきます。

### 2009年度環境方針

- (1) 茨城工場は、トップレベルの環境貢献企業の達成に向けて、全ての活動分野で環境に配慮した施策に取り組む。
- (2) 信頼される工場となるために環境マネジメント・システムを強化し、環境汚染の予防と環境改善を継続的に進める。
- (3) 世界一の工場づくりを目指し、環境改善のできることから確実に実施していく。
- (4) 地球温暖化対策の省エネルギーおよび資源保護のための廃棄物の低減・リサイクル・グリーン購入の推進を図る。
- (5) 関連する法規制および協定などを順守し、環境保全に取り組む。
- (6) 環境方針を具現化するため環境目的・目標を設定し、計画的に実行する。
- (7) 環境目的・目標および計画は、年1回見直しを行う。
- (8) 工場内全従業員および組織のために働く全ての人が本方針を理解し、行動するよう教育と啓蒙を行い周知を図る。
- (9) 地域の自然との調和・融合と、その共生を目指す。
- (10) 本方針は、一般の人からの要求に応じ公表する。

### 主な地域との交流活動

#### 工場見学の実施

工場への理解を深めていただくため、地元の小学生、高校性を招いて工場見学会を実施しています。2008年度は6回実施し、延べ95名が訪れました。

#### 交通安全誘導

地元の羽鳥小学校の通学と帰宅時に、工場の守衛による交通安全誘導を実施しています。

#### その他の活動

2008年度は地域住民の皆さまや取引先の方々を対象に「PRGRサークル」を2回開催しました。献血への協力、工場内野球場の開放、地域イベントなどへの協賛も行っています。



工場見学会に訪れた小学生に説明する従業員



交通安全誘導の様子

「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトとは、横浜ゴムが創業100周年を迎える2017年までに、国内外の全生産拠点に合計約50万本の植樹を行い「杜」を作るプロジェクトです。2007年11月の平塚製造所での植樹祭を皮切りに本格的にスタートしました。

- 2008年6月：第1期植樹祭(560名参加、3,800本植樹)
- 2009年5月：第2期植樹会(80名参加、2,800本植樹)



## 環境データ

### PRTR対象物質

(単位:トン/年)

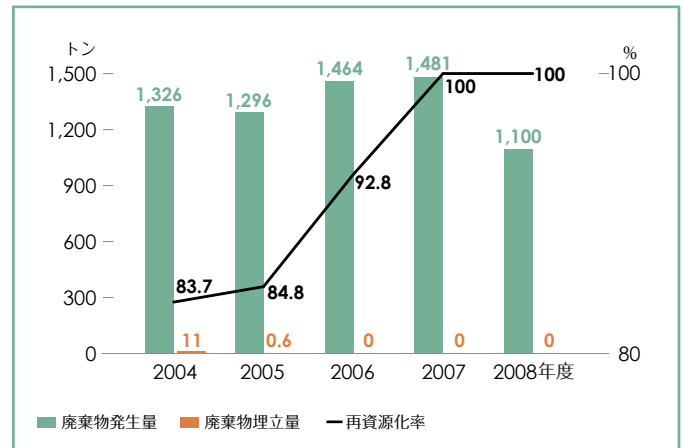
政令番号	対象化学物質	取扱量*1	排出量*2	移動量*3	安全性影響度評価 VI-5			
					有害性ランク(人)	年間換算排出量(人)	有害性ランク(生態)	年間換算排出量(生態)
293	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	16	0	0.52	A	0	—	0
227	トルエン	3.9	3.9	0	C	39	D	3.9
176	有機スズ化合物	3.6	0	0.36	A	0	A	0
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	3.6	0	0.14	C	0	D	0
338	m-トリレンジイソシアネート	2.7	0	0.40	A	0	D	0
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	1.8	0	0.57	A	0	A	0
	総合計	31.6	3.9	2.0		39		4

※1:取扱量は1トン以上を記載 ただし、ベンゼン等の特定第1種指定化学物質は0.5トン以上を記載

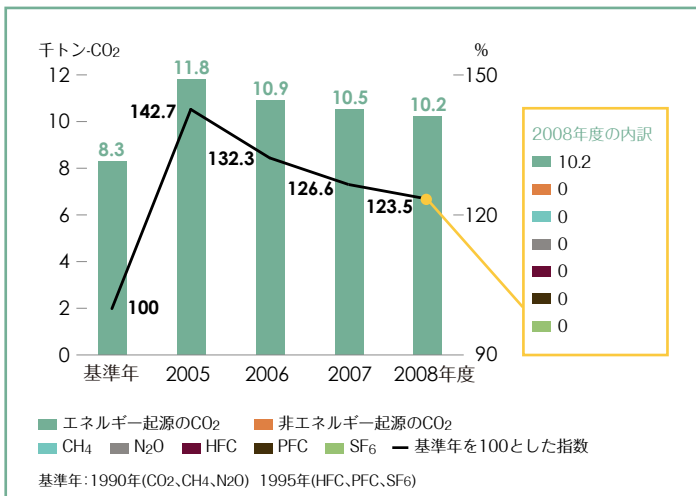
※2:排出量=大気+公共用水域+土壌

※3:移動量=廃棄物+公共下水道

### 廃棄物発生量と埋立量、再資源化率



### 温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数



### 大気関係測定データ(主要施設)

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2008年度実績		
				平均値	最大値	最小値
茨城工場	硫酸化合物(k値)	10	0.28	0.090	0.1	0.07
	窒素化合物濃度(ppm)	250	88	67	72	63
	ばいじん濃度(g/m <sup>3</sup> N)	0.2	0.014	0.004	0.005	0.003

※大気汚染防止法、美野里町公害防止協定に準拠、2008年度も規定違反なし

### 水質関係測定データ(主要排水)

排水口	項目	規制値	自主管理値	2008年度実績		
				平均値	最大値	最小値
茨城工場	PH	5.8~8.6	7.0~8.2	7.7	8.1	7.3
	BOD濃度(mg/l)	10	4.2	1.7	5.8	1未満
	COD濃度(mg/l)	10	5.4	2.3	4.2	1.0
	SS濃度(mg/l)	15	3.5	1.5	5.6	1未満
	油分濃度(mg/l)	3	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満

※茨城県条例、美野里町公害防止協定に準拠、2008年度も規定違反なし

※自主設定した管理値を外れた場合は、その原因を明確化し速やかに通常域に戻す対策を講じます